

別紙1

平成 18 年 11 月 20 日

厚生労働省労働基準局長 殿

東京都中央区京橋二丁目 18 番 3 号  
株式会社 ミルックス  
代表取締役社長 上山 隆

鋼管足場用の部材及び附属金具の規格第 9 条の規定に基づく  
適用除外の申請について

鋼管足場用の部材及び附属金具の規格（昭和 56 年 12 月 25 日労働省告示第 103 号）第 9 条の規定に基づく適用除外を下記のとおり申請致します。

#### 記

1. 申請品目 建わく（簡易わく） KT917、KTB917、KTT917
2. 適用除外条文  
第 1 章 第 1 節（構造）第 2 条第 2 号、第 2 条第 6 号、第 3 条
3. 規定と異なる部分  
脚柱が先行手すりの支柱を兼ねているため、規定で定める脚柱の高さ、及び交さ筋かいのピンの鉛直方向の取付間隔、及び補剛材の取付位置の寸法と異なる形状である。
4. 申請理由  
脚柱が先行手すりの支柱を兼ねているため、足場の組立及び解体の作業がより安全になり、労働災害を防止する上で、有効な建わくである。

5. その他の規格保持について

(1) 強度等の値について

①建わくの強度試験等

本規格第4条、第5条及び第7条に定める強度等について、社団法人仮設工業会において行った試験の結果は表-1、表-2、表-3のとおりであり、これらの規定に適合するものであること。

また、5層1スパン実大試験の結果は、別添2のとおりであること。

表-1

型 式	(簡易わく) 建わく KT917					
供 試 体 No.	1	2	3	4	5	構造規格
第4条の試験(kN)	87.9	93.5	91.7	90.1	91.5	63.7以上
第5条の試験(mm)	4.5	4.3	4.6	4.6	4.5	10以下
第7条の試験(kN)	12.0以上	12.0以上	12.0以上	12.0以上	12.0以上	5.88以上

(試験実施年月日 平成18年10月10日)

表-2

型 式	(簡易わく) 建わく KTB917					
供 試 体 No.	1	2	3	4	5	構造規格
第4条の試験(kN)	75.2	70.4	71.2	79.2	70.9	63.7以上
第5条の試験(mm)	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9	10以下
第7条の試験(kN)	12.0以上	12.0以上	11.2	12.0以上	12.0以上	5.88以上

(試験実施年月日 平成18年10月10日)

表-3

型 式	(簡易わく) 建わく KTT917					
供 試 体 No.	1	2	3	4	5	構造規格
第4条の試験(kN)	86.3	90.9	89.0	87.0	89.7	63.7以上
第5条の試験(mm)	4.6	4.6	4.5	4.7	4.9	10以下
第7条の試験(kN)	12.0以上	12.0以上	12.0以上	12.0以上	12.0以上	5.88以上

(試験実施年月日 平成18年10月10日)

②交さ筋かいピン SGD-3MS-Bの強度試験

表-4

材 料 φ13 1.326 cm <sup>2</sup>	交さ筋かいピン SGD-3MS-B					構造規格 SS400
供 試 体 No.	1	2	3	4	5	
引張試験 (kN)	82.0	82.1	82.3	80.8	81.8	53.1以上※

(試験実施年月日 平成16年8月6日)

※ SS400の引張強度 : 40kN/cm<sup>2</sup> × 1.326 cm<sup>2</sup> = 53.1kN

(2) 材質及び構造について

①建わく KT917

次の表-5 に示すとおり、本規格第 1 条及び第 2 条（第 2 条第 6 号、第 3 条を除く）の規定に適合するものであること。

表-5

種 類		簡易わく	
型 式		建わく KT917	構造規格
材 料	脚柱及び横架材	STK500	STK500 (第 1 条)
	補剛材	STK400	STK400 (第 1 条)
	交さ筋かい	SGD-3MS-B (強度試験 表-4)	SS400 (第 1 条)
構 造 及 び 寸 法	幅 (mm)	895 (±1.0)	400 以上 1250 未満 (第 2 条第 1 号)
	高さ (mm)	1700 (±1.0)	1800 以下 (同 第 2 号)
	脚柱及び横架材の外径 (mm)	42.7 (±0.25)	42.4 以上 (同 第 3 号)
	脚柱及び横架材の肉厚 (mm)	2.4 (±0.2)	2.2 以上 (同 第 3 号)
	補剛材の外径 (mm)	27.2 (±0.25)	26.9 以上 (同 第 4 号)
	補剛材の肉厚 (mm)	1.9 (±0.2)	1.7 以上 (同 第 4 号)
	交さ筋かいピンの外径 (mm)	13.0 (0~+0.5)	13.0 以上 (同 第 5 号)
	交さ筋かいピン の抜け止めの有無	有	有 (同 第 5 号)
	交さ筋かいピンの鉛直 方向の取付間隔 (mm)	片側 1219 (0~+1.0)	1200 以上 1300 以 下 (同 第 6 号)

②建わく KTB917

次の表-6 に示すとおり、本規格第 1 条及び第 2 条（第 2 条第 2 号、第 2 条第 6 号、第 3 条を除く）の規定に適合するものであること。

表-6

種 類	簡易わく		
型 式	建わく KTB917	構造規格	
材 料	脚柱及び横架材	STK500 (第 1 条)	
	補剛材	STK400 (第 1 条)	
	交さ筋かい	SGD-3MS-B (強度試験 表-4)	SS400 (第 1 条)
構 造 及 び 寸 法	幅 (mm)	895 (±1.0)	400 以上 1250 未満 (第 2 条第 1 号)
	高さ (mm)	片側 1700 (±1.0)	1800 以下 (同 第 2 号)
	脚柱の外径 (mm)	48.6 (±0.25)	42.4 以上 (同 第 3 号)
	横架材の外径 (mm)	42.7 (±0.25)	
	脚柱の肉厚 (mm)	2.4 (±0.2)	2.2 以上 (同 第 3 号)
	横架材の肉厚 (mm)	2.4 (±0.2)	
	補剛材の外径 (mm)	27.2 (±0.25)	26.9 以上 (同 第 4 号)
	補剛材の肉厚 (mm)	1.9 (±0.2)	1.7 以上 (同 第 4 号)
	交さ筋かいピンの外径 (mm)	13.0 (0~+0.5)	13.0 以上 (同 第 5 号)
	交さ筋かいピンの 抜止めの有無	有	有 (同 第 5 号)
	交さ筋かいピンの鉛直 方向の取付間隔 (mm)	最下段両側 1219 (0~+1.0)	1200 以上 1300 以 下 (同 第 6 号)

③建わく KTT917

次の表-7 に示すとおり、本規格第 1 条及び第 2 条（第 3 条を除く）の規定に適合するものであること。

表-7

種 類	簡易わく		
型 式	建わく KTT917	構造規格	
材 料	脚柱及び横架材	STK500 (第 1 条)	
	補剛材	STK400 (第 1 条)	
	交さ筋かい	SGD-3MS-B (強度試験 表-4)	SS400 (第 1 条)
構 造 及 び 寸 法	幅 (mm)	895 (±1.0)	400 以上 1250 未満 (第 2 条第 1 号)
	高さ (mm)	片側 1700 (±1.0) 片側 700 (±1.0)	1800 以下 (同 第 2 号)
	脚柱及び横架材の外径 (mm)	42.7 (±0.25)	42.4 以上 (同 第 3 号)
	脚柱及び横架材の肉厚 (mm)	2.4 (±0.2)	2.2 以上 (同 第 3 号)
	補剛材の外径 (mm)	27.2 (±0.25)	26.9 以上 (同 第 4 号)
	補剛材の肉厚 (mm)	1.9 (±0.2)	1.7 以上 (同 第 4 号)
	交さ筋かいピンの外径 (mm)	13.0 (0~+0.5)	13.0 以上 (同 第 5 号)
	交さ筋かいピンの の抜け止めの有無	有	有 (同 第 5 号)
交さ筋かいピンの鉛直 方向の取付間隔 (mm)	片側 1219 (0~+1.0) 片側 ピンなし	1200 以上 1300 以 下 (同 第 6 号)	

## 6. 規格と異なる部分に関する検討

### ①建わく KT917

規格第2条第6号と第3条と異なる部分に関する検討

規格第2条第6号では、交さ筋かいピンの鉛直方向の取付間隔が1200mm以上1300mm以下であること、と定めているのに対し、本品は、手すりブレースピンの鉛直方向の取付間隔が830mmである。

規格第3条では、標準わく又は簡易わくの補剛材の取付位置は、次の表の上欄に掲げる区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる寸法に適合するものでなければならない、と定めているのに対し、本品は、補剛材の取付位置寸法の $l_2$ が536mmである。

本品の強度は、前述のとおり、規定で定める寸法で取り付けたものと、同等以上の強度を有すると考えられる。

### ②建わく KTB917

規格第2条第2号と第2条第6号と第3条と異なる部分に関する検討

規格第2条第2号では、高さ（脚柱の長さをいう。以下この節において同じ）が2000mm（簡易わくにあっては、1800mm）以下であること、と定めているのに対し、本品は、手すりブレースを取付ける側の脚柱の高さは2700mmである。

規格第2条第6号では、交さ筋かいピンの鉛直方向の取付間隔が1200mm以上1300mm以下であること、と定めているのに対し、本品は、手すりブレースピンの鉛直方向の取付間隔は830mmである。

規格第3条では、標準わく又は簡易わくの補剛材の取付位置は、次の表の上欄に掲げる区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる寸法に適合するものでなければならない、と定めているのに対し、本品は、補剛材の取付位置寸法の $l_2$ が536mmである。

本品の強度は、前述のとおり、規定で定める寸法で取り付けたものと、同等以上の強度を有すると考えられる。

### ③建わく KTT917

規格第 2 条第 6 号と第 3 条と異なる部分に関する検討

規格第 2 条第 6 号では、交さ筋かいピンの鉛直方向の取付間隔が 1200mm 以上 1300mm 以下であること、と定めているのに対し、本品は、手すりブレースピンは下段の建わく KT917 の脚柱に取り付けてある。

規格第 3 条では、標準わく又は簡易わくの補剛材の取付位置は、次の表の上欄に掲げる区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる寸法に適合するものでなければならない、と定めているのに対し、本品は、補剛材の取付位置寸法の  $l_2$  が 536mm である。

本品の強度は、前述のとおり、規定で定める寸法で取り付けたものと、同等以上の強度を有すると考えられる。

(別添1)

## 申請仮設機材の全体図

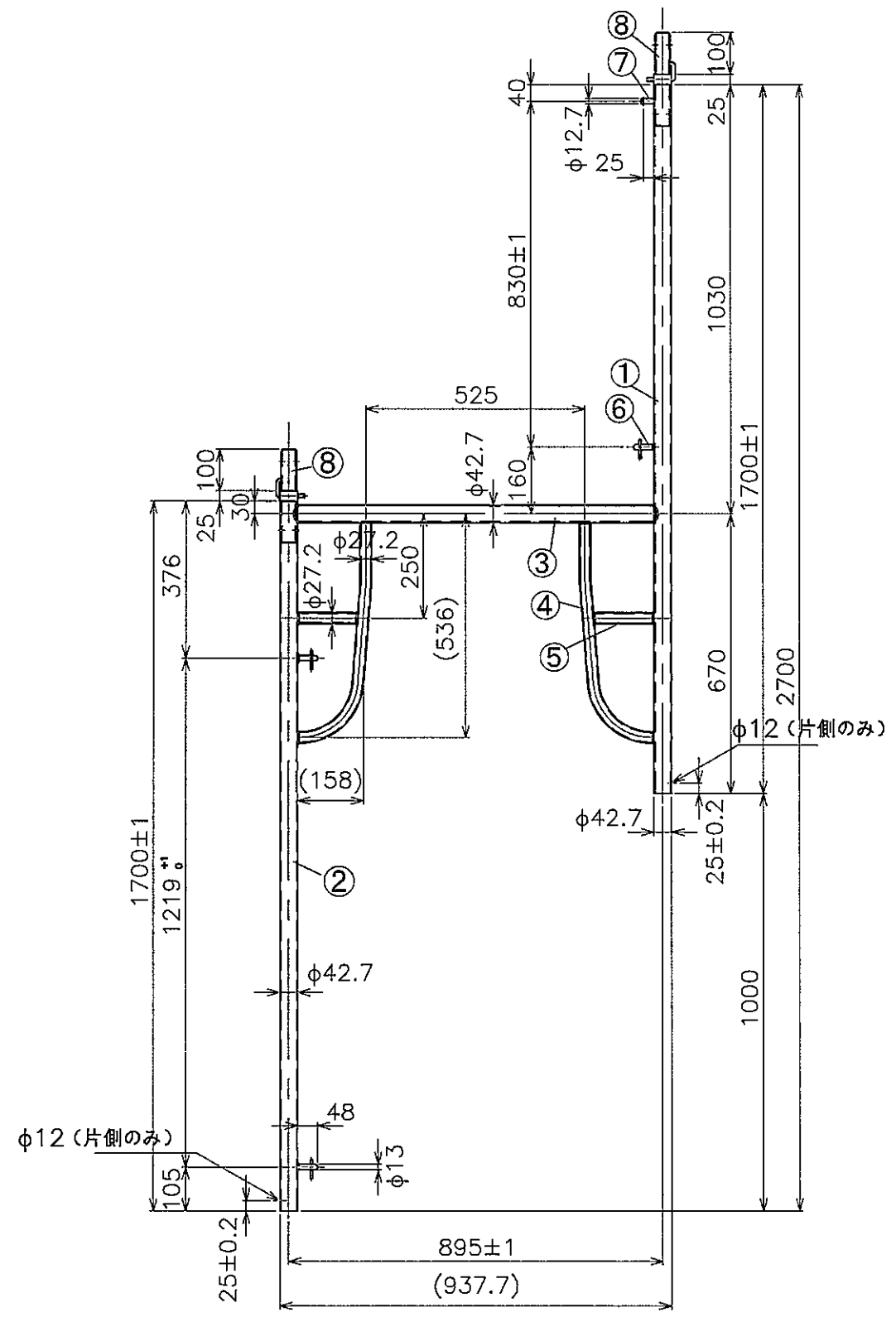
KT917

KTB917

KTT917



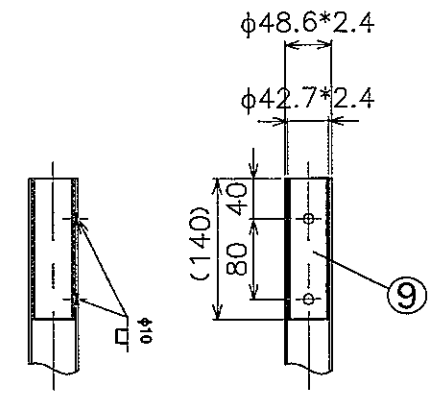
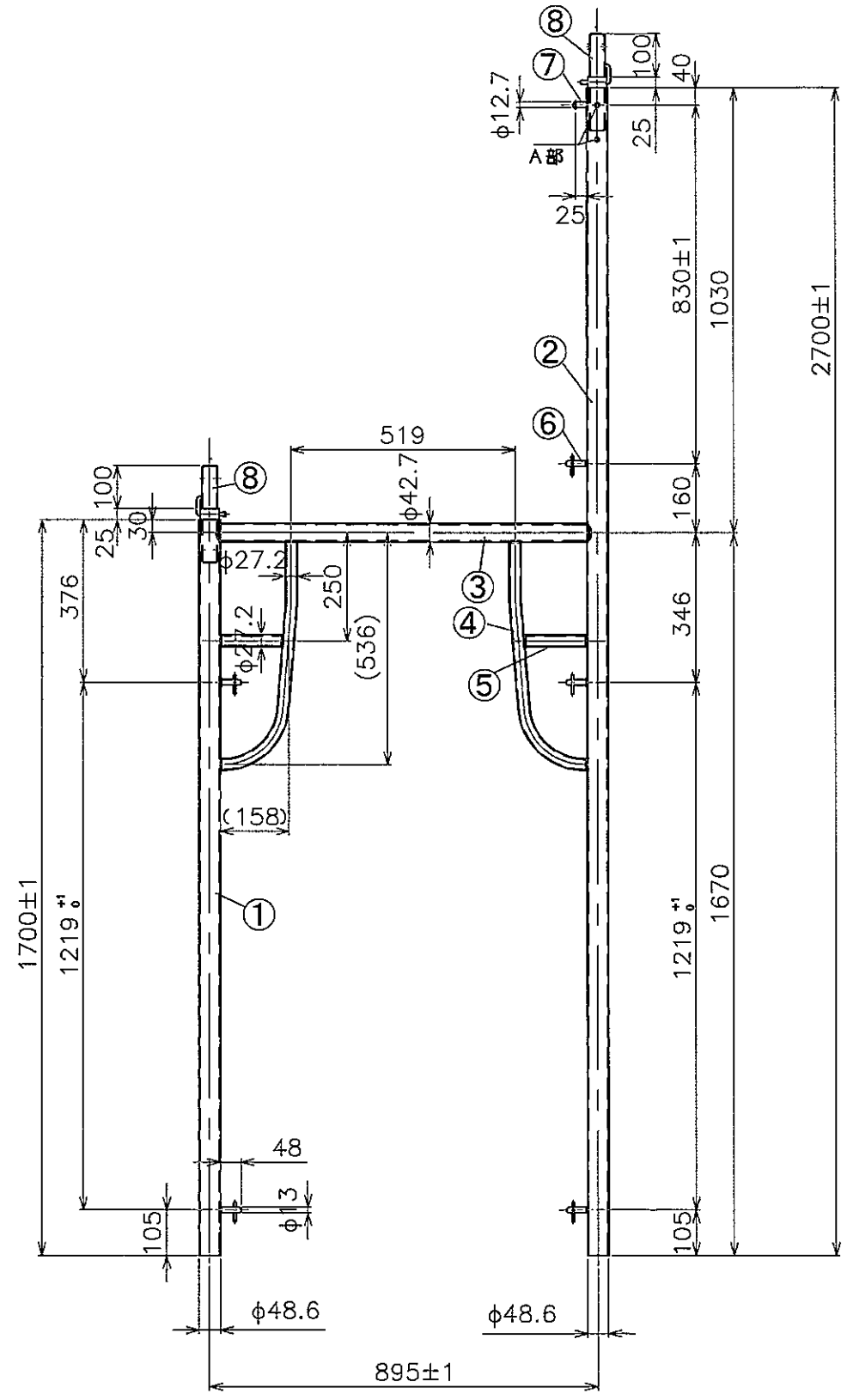
符号	変更理由	変更前	承認年月日	承認
△				



8	脚柱ジョイント CP-20	2					
7	ブレース用リベット φ12.7	1					
6	交さ筋かい止めピン φ13	3	SGD-3MS -B				
5	補剛材 B φ27.2×1.9	2	STK400				
4	補剛材 A φ27.2×1.9	2	STK400				
3	横架材 φ42.7×2.4	1	STK500				
2	脚柱 B φ42.7×2.4	1	STK500				
1	脚柱 A φ42.7×2.4	1	STK500				
部品番号	部品名称・形状	数量	材質	単重	備	考	
申請会社	承認		検図		設計	尺度	
株式会社 ミルックス							1/15
名称	簡易わく	型式	建わく KT917	作成日	平成18年9月 1日	図番	1

CD	
C番	

符号	変更理由	変更前	承認年月日	承認
△				

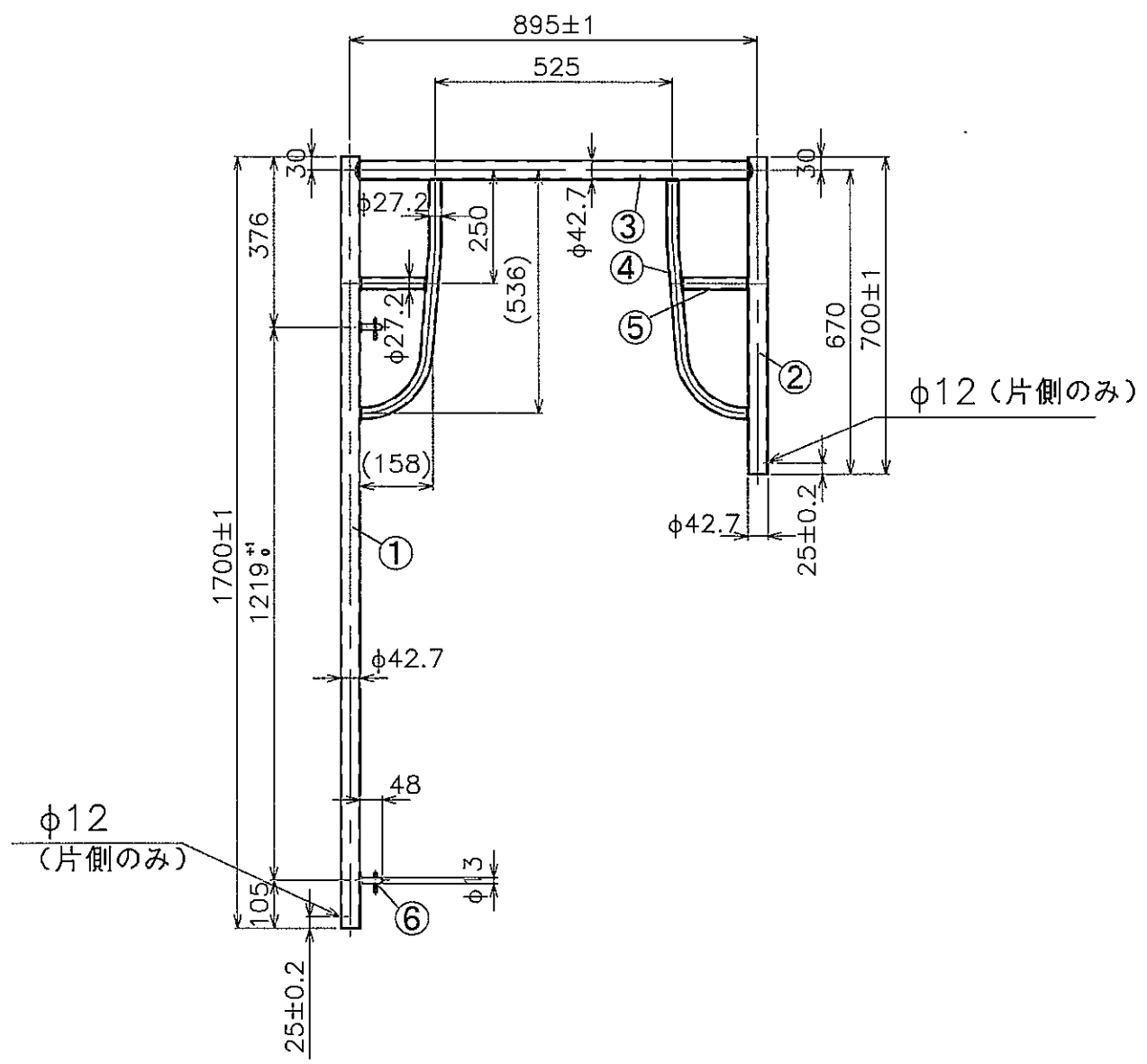


A部 詳細

9	スパーサー φ42.7×2.4	2	STK500				
8	脚柱ジョイント CP-20	2					
7	プレス用リベット φ12.7	1					
6	交さ筋かい止めピン φ13	5	SGD-3MS -B				
5	補剛材 B φ27.2×1.9	2	STK400				
4	補剛材 A φ27.2×1.9	2	STK400				
3	横架材 φ42.7×2.4	1	STK500				
2	脚柱 II φ48.6×2.4	1	STK500				
1	脚柱 I φ48.6×2.4	1	STK500				
部品番号	部品名称・形状	数量	材質	単重	備	考	
申請会社	承認	検	図	設計	尺度		
株式会社 ミルックス							1/15
名称	簡易わく 型式	建わく KTB917	作成日	平成18年9月 1日	図番	2	

CD	
C番	

符号	変更理由	変更前	承認年月日	承認
△				



6	交さ筋かい止めピン φ13	3	SGD-3MS -B						
5	補剛材 B φ27.2×1.9	2	STK400						
4	補剛材 A φ27.2×1.9	2	STK400						
3	横架材 φ42.7×2.4	1	STK500						
2	脚柱 C φ42.7×2.4	1	STK500						
1	脚柱 B φ42.7×2.4	1	STK500						
部品番号	部品名称・形状	数量	材質	単重	備考				
申請会社	承認	検図	設計	尺度					
株式会社 ミルクス								1 15	
名称	簡易わく 型式	建わく KTT917	作成日	平成18年9月 1日	図番				3

CD	
C番	

(別添2)

簡易わく5層実大座屈試験

[試験方法]

先行手すり型簡易わくを5層1スパンに組み、その脚柱（本申請品）の上下端には、使用高さ200mmとしたジャッキ型ベース金具を取付け、圧縮荷重をかける。

なお、各層ごとにわく幅いっぱいの床付き布わくと交さ筋かいを片面に、また、構造上最も長さが長い手すりブレース（別申請品型式KTX1718）を片面に取付ける。

[試験結果]

型 式	建わく KT917、KTB917,KTT917									
	水平変位 (mm)									
	わく面方向の変位					わく面に対して直角方向の変位				
スケール No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
荷重 0kN	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	1	0	-3	-4	1	3	2	2	1
40	0	2	1	-3	-5	2	4	3	5	4
60	0	3	1	-3	-6	2	6	4	5	4
80	1	5	3	-2	-5	2	8	8	9	4
100	3	7	5	-2	-6	2	8	10	10	4
120	5	11	7	0	-6	2	9	12	10	4
140	8	16	11	2	-6	2	10	14	10	4
160	16	28	21	6	-6	2	11	16	12	5
169.2	47	62	47	18	-5	0	11	17	13	6
最大荷重 kN	169.2									

(試験実施年月日 平成18年10月18日)

試験実施者 社団法人 仮設工業会

# 試験方法図

